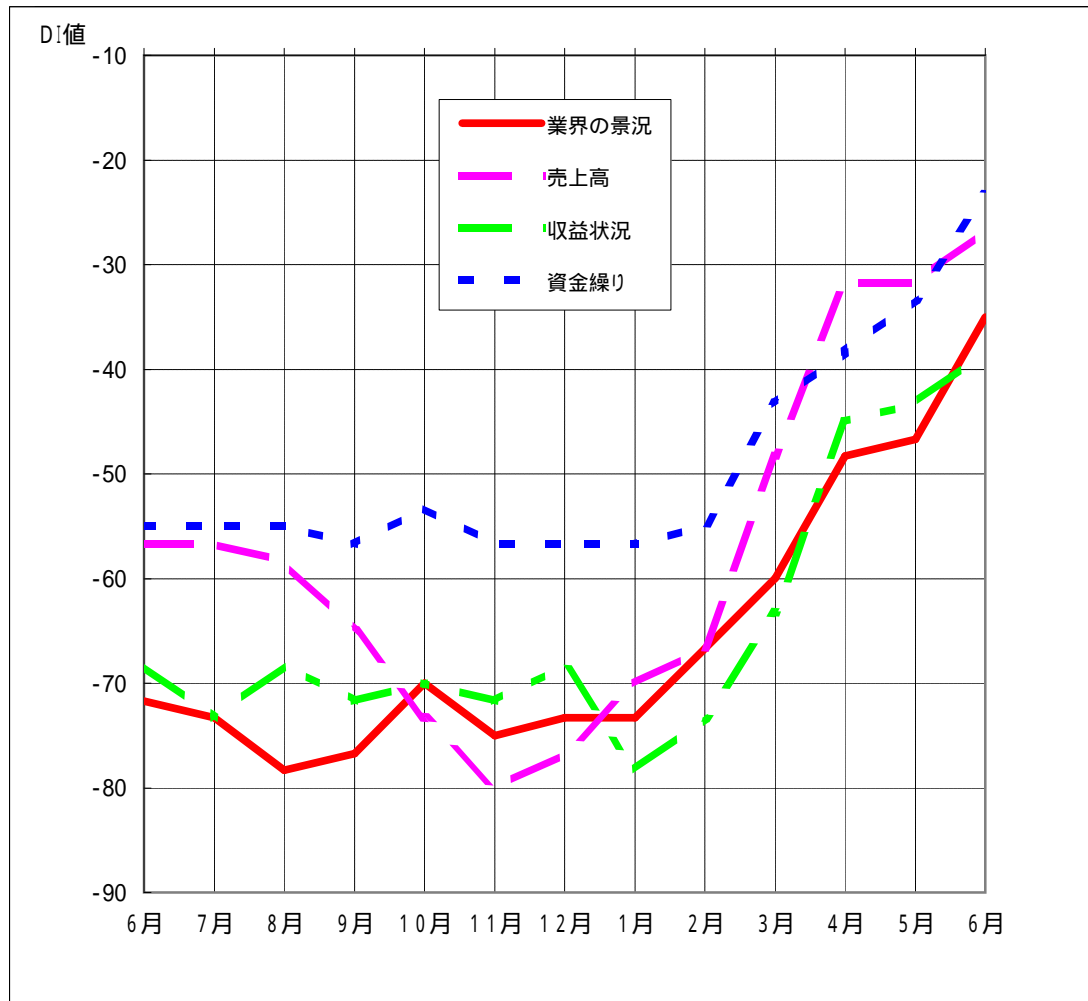


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成21年6月～平成22年6月

単位:ポイント



	H21						H22						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
業界の景況	-71.7	-73.3	-78.3	-76.7	-70.0	-75.0	-73.3	-73.3	-66.7	-60.0	-48.3	-46.7	-35.0
売上高	-56.7	-56.7	-58.3	-65.0	-73.3	-80.0	-76.7	-70.0	-66.7	-48.3	-31.7	-31.7	-26.7
収益状況	-68.3	-73.3	-68.3	-71.7	-70.0	-71.7	-68.3	-78.3	-73.3	-63.3	-45.0	-43.3	-38.3
資金繰り	-55.0	-55.0	-55.0	-56.7	-53.3	-56.7	-56.7	-56.7	-55.0	-43.3	-38.3	-33.3	-23.3

6月のDI値は前年同月に比べ、全項目が5ヶ月続けて改善した。「業界の景況」DI値は36.7ポイント、「売上高」DI値は30ポイント、「収益状況」DI値は30ポイント、「資金繰り」DI値は31.7ポイントとそれぞれ改善した。持ち直しの傾向が明確になってきているが、内容を見てみると売上高の増加している業種と減少している業種とのバラツキが目立ち、また受注が依然として不安定な状態にある。受注単価の値戻し申し入れが受け入れられないなど収益環境の改善も進まないなど、厳しい状況が続いている。

組合の特記事項からは、鉄鋼・金属、一般機器製造業などでは受注量が増加したという声があったが、それ以外の業種では、前年度より全体としては持ち直しているものの、販売単価の下落や売上高が減少しているとの声が目立った。

